

学力向上に効果のある取組事例

豊後高田市立桂陽小学校

⑦生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開

ペア・グループでの話し合い(学び合い)活動

生徒指導の3機能を常に意識し、ペア・グループでの話し合い(学び合い)活動を充実させた。

子どもたちの主体的な学びの保障

「ジグソー法」の手法を取り入れた協調学習を行うことで、複数の子どもたちで協力して考える良さを多くの子どもたちが実感

授業の中で成就感や自己達成感を持たせる

- ①子どもが追求し自分の考えを持つことのできる課題を設定
- ②個々の活躍(発表・発信)の場を工夫し、成就感や自己存在感を持たせる。
- ③話し合い等の交流活動を工夫し他者と認め合い、新しい考えを創造させる。



個々を活躍(発表・発信)させる場を工夫することで、安心して意見交流する子ども



ICTを活用した交流活動

子どもが集中して聴き、楽しみながら学習

iPadのアプリ「ロイロノート」の活用を中心に行う。日常的なICT活用ができ、子どもたちもタブレットに興味を持ち続けている。今後は、活用を継続しながら、より効果的なICT活用をすすめる。

【活用場面】

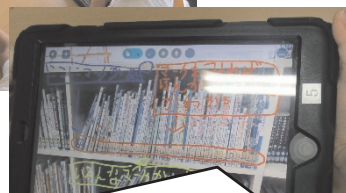
「考える・話し合う・発表する・調べる・意見を聴く」

- ・情報の収集や選択
- ・自分の考えや調べたことを文章や表、図にまとめる。
- ・わかりやすく発表したり表現したりする。
- ・繰り返しの学習や練習=知識の定着や技能の習熟に

【学習を成立させる下地づくり】

- iPad使用マニュアル 発表の仕方・聴き方
- 役割を意識した話し合い 調べ学習のしかた
- 写真や図を利用した説明 プレゼンテーション能力

4年算数
「180度を超える角度の測り方を考えよう」ロイロノートの活用



国語3年生「図書館の秘密をみつけて1年生に伝えよう」自分で写した写真に秘密を書き込み班のみんなに交流中

学力向上に効果のある取組事例

豊後高田市立桂陽小学校

⑦生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開

コミュニケーション力を育む取組

学級や全校で自分の思いを交流しやすい環境づくりをおこなった。

組織的に取組むための指針の共通理解

集会や学級の中で次の4つの子ども像をめざした。

- ①自分の周りの人について理解する子ども
- ②自己肯定感を味わい、自信を持つ子ども
- ③集団の中で他の人と協働する子ども
- ④自分の考えを持ち表現できる子ども

学習規律の徹底

- ・月の重点目標の徹底と振り返りのサイクルをまわす
- ・全校統一の学習のきまりの掲示と学期ごとの見直し
- ・月ごとの重点目標の設定(4点セットとの連動)



コロナ禍のため運動場での児童集会 生活目標の振り返りを発表する子ども



	子どもたちの学習態度	指導上の留意事項
学 習 前	<p>■学習が始まる前（5分休みの間）に、次の時間の準備をする。 *筆箱を机の上に置くかどうかは、学年部で統一する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">筆記用具</p> <p style="text-align: center;">教科書 ノート</p> </div> <p>★体育館および特別教室への移動時は廊下に並び移動。 ★運動場の場合は並ぶ場所を決めて移動。 ★机上整理をする。（衣服をたたむ。椅子を入れる） ★チャイム着席を守り、先生が始めるまで待つ。</p> <p><u>使用するノートについて</u></p> <p>漢字ノート 低=50字、中=84字 高=91~100字 国語ノート 1年=8マス~10マス、 2年=10マス~12マス 3年=12マス~1行 4年以上=12行 算数ノート 1年=横間さんすう6マス~7マス 2年=14マス 3年以上=5ミリ方眼</p>	<p>○学習の終わりの挨拶後、すぐ次の学習の準備をさせる。 *5分休みは、次の時間の準備時間およびトイレの時間である。 ○筆箱は華美ではなく適切な大きさのもの。中身も学習に集中させるために必要なもののみ。</p> <p><u>筆箱の中身</u></p> <p>→鉛筆5~6本、(Bまたは2B、3B) よく消える消しゴム（華美なもの、おもちゃ型などは×） 赤と青の、ボールペンまたは色鉛筆 定規 その他・・・学年によっては名前ペン、マーカー コンパス、のり、はさみ</p> <p><u>禁止のもの</u></p> <p>・シャープペンシル、練り消し、飾りがついているキャップや鉛筆、キャラクターもの定規、目盛りが見えにくく操作しづらい定規や分度器 *「忘れた」を防ぐため、貸し出せるように準備しておく</p> <p>○下敷きは必ず使用する。（華美でないもの） ○授業が始まるまでの待ち方を指導しておく。 (教科書を読む、読書をするなど)</p>
学 習 中	<p>■あいさつをする。・授業の始めと終わりは起立 (例) 日直「起立、今から〇〇の学習を始めます。礼」 全員「お願いします」 日直「起立、これで〇〇の学習を終わります。礼」 全員「ありがとうございました。」</p> <p>■聞き方・・・話している人のほうに顔（視線）を向ける。 ■話し方=指名されたら返事をして立つ・挙手「はい」は1回 ■起立・着席→音を立てない椅子の動き ■ノートの使い方を徹底→算数科 ・ノートを折り曲げて使わない。・下敷きをつかう。</p> <p><u>ノートに書くこと</u></p> <p>・日付、ページ、問題番号、問題、課題 まとめ、練習 の言葉をノートに位置付ける</p> <p>■その他 ・肘をつかない・片手書きをしない・ひじを伸ばして挙手 ・椅子に深く座る。・鉛筆を正しくもつ。</p>	<p>○始まる時刻とともに挨拶がかけられるように徹底する。 ○正面黒板は授業用として使用する。 (伝言やメモ用としては使用しないことを基本とする) ・前面の掲示物（学級目標なども）児童の意識や集中が散漫にならないように配慮する。</p> <p>○日付、ページ、問題番号、問題、課題、まとめ、練習のプレートを使用する。 ○授業者は矢継ぎ早に発問や質問をするのではなく、子どもの反応を確かめながら話すように心掛ける。 ○子どもによって呼び方を変えない。 ～さん など統一する</p>
	<p>■やり直しはその日のうちに学校でする。</p>	<p>前日の宿題のやり直しをさせて下校させる。</p>

- ・桂陽小学校「学習・生活の基本的な規律」共通事項「確認」については、全校で統一して指導していく。
- ・正面黒板は授業用として使用する。(伝言やメモ用としては使用しないことを基本とする)については、小黒板などを黒板以外におけるか、各学級で設備状態が違うので、担任が置き場所を確認しておく。
- ・問題、めあて、課題、まとめ、練習などのプレートを使用する。・・・教室にあるかどうか、担任が確認する。